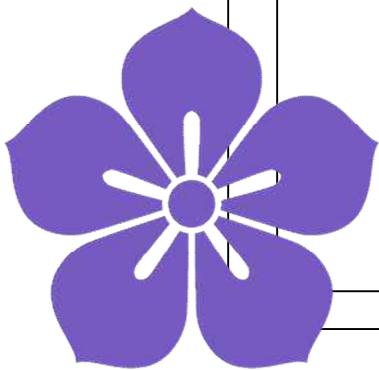


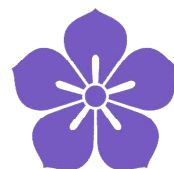
第2回

光秀公のまち亀岡

俳句大賞 受賞作品



【大賞『明智光秀賞』】



余命宣告とうに過ぎたる菊日和

京都府 城陽市 山崎 久子さん

〈講評〉 菊日和は菊の咲くころのよい天気。その天気、生きる喜びそのもの。

【亀岡市長賞】

〈小学生の部〉

あさぎりにかすかにはえるスタジアム

亀岡市立安詳小学校 3年 小林 将大さん

〈講評〉 建設中のスタジアムが朝霧によつてかすみ
浮かぶ風景、スタジアムの存在感を際立た
せている一句。

〈中学生の部〉

霧の海泳ぐクジラは愛宕山

京都教育大学附属京都小中学校

8年 白石 奈々さん

〈講評〉 霧のテラスから見た風景か？自然の雄大さ
を読み取った亀岡ならではの一句。

〈一般の部〉

緑蔭を過去に分け入る明智越

広島県 広島市 河崎 正裕さん

〈講評〉 明智越えを歩き進みにつれ、光秀が歩いた
当時の思いを感じ入る場面を思い起こす
一句。

【亀岡市教育長賞】

〈小学生の部〉

カブトムシ飼ったがぼくはさわれない

八幡市立八幡小学校 5年 余膳 透陽さん

〈講評〉 えっ、「さわれんのかーい」と思わず突っ
込みたくなる、「くすつ」と笑える微笑まし
い句ですね。

〈中学生の部〉

夏の霧ポニーテールではらいけり

川越市立福原中学校 3年 深田 さやかさん

〈講評〉 霧深いグラウンドを一生懸命に走っている女
の子のポニーテールが、一步一步進むたび
に揺れている姿が浮かびます。

〈一般の部〉

初恋も告白もした駅は秋

福島県 いわき市 堀 卓さん

〈講評〉 山々は紅葉し、やわらかい秋の風に包まれ
た駅前で、人生の淡い思い出に浸っている
素敵な一句です。

【審査員特別賞】

〈小学生の部〉

あかとんぼ夕日の場所へ一直線

八幡市立八幡小学校 3年 守山 海智さん

〈講評〉 鮮やかだね。君の純な眼差しが、天地を切り裂いて一直線だ。

〈中学生の部〉

年越しや兄弟ゲンカのゴングなる

京都教育大学附属京都小中学校

8年 石崎 悠也さん

〈講評〉 元日の朝は仲直りかい、それとも第二ラウンドのはじまりかい。

〈一般の部〉

光秀を馬上に祭動き出す

京都府 亀岡市 矢野 茂嗣さん

〈講評〉 武士のほまれは何といっても馬上、軍扇をもたせたいね。ハツケヨイ。

【自然環境文化賞】

〈小学生の部〉

いちようの葉秋の黄色いハートだよ

八幡市立八幡小学校 3年 高橋 一成さん

〈講評〉 けれども君のハートは、もう真っ赤に燃えているよ。

〈中学生の部〉

水の中うろつく僕とアユモドキ

亀岡市立別院中学校 3年 開本 信さん

〈講評〉 「僕」がもうアユモドキになっている。その変身を感じ、悪くないね。

〈一般の部〉

澄む秋や丹波水路の芋車

京都府 長岡京市 吉田 星子さん

〈講評〉 台風や水害をやりすごして、ホツとする丹波の秋。

だんごむしめくったかれはにかくれんぼ

有田町立有田中部小学校 3年 山口 未来さん

〈講評〉 防空壕に逃げたんだ。頭隠して尻隠さず。

蜂がまい兄が私をたてにする

亀岡市立亀岡中学校 1年 八木 藍子さん

〈講評〉 兄はいばっているけれど、逃げ足も早い。それを笑いながら、眺めてる。

アユモドキ育てし小川水澄めり

京都府 亀岡市 井内 房子さん

〈講評〉 アユモドキ、もう本物の鮎は成長しています。食べたくなるなあ。

【優秀賞】

〈小学生の部〉

夏休み平日ずっとおるすばん

八幡市立八幡小学校 6年 谷内 愛さん

〈講評〉かわいそう。でも、留守番の楽しみもあるかも。

雪合戦一人本気のやつがいる

八幡市立八幡小学校 6年 駒津和 芽葵さん

〈講評〉やりにくいなあ、という気分がよく分かる。だが、本気は大事かも。

懇談会わたしとママの夏の陣

大阪市立南港桜小学校 3年 國原 真桜さん

〈講評〉夏の陣という古い言い方をうまく使ったね。いい調子！

〈中学生の部〉

迎え火が風でゆらいで祖父もどる

亀岡市立育親中学校 2年 賀原 鈴さん

〈講評〉祖父が戻ってくる感覚、大事かもね。

バレンタインつくったひとをゆるさない

亀岡市立南桑中学校 1年 中島 陽人さん

〈講評〉気持ちは分かるが、そのうち許す日が来ると思うよ。

夏休み祖父の畑でつまみ食い

京都教育大学附属京都小中学校

9年 吉田 匡志さん

〈講評〉トマト、あるいはくだもの？うまかったでしょ。

〈一般の部〉

豆殻を焚きて丹波の山眠る

京都府 南丹市 三日月 美門さん

〈講評〉黒豆の名産地・丹波の冬を575の絵にしている。

肩ぐるまコスモス園の海をゆく

京都府 亀岡市 井上 實さん

〈講評〉肩車に乗っている子だけが見えるのだろう。楽しそう。

川下り山のかたちに蟬時雨

神奈川県 横浜市 山田 知明さん

〈講評〉山のかたちにそって溪流を下って行く。夏の保津川下りだ。

【奨励賞】

〈小学生の部〉

トロッコで紅葉トンネル駆け抜けて

那覇市立真嘉比小学校

6年 名村 颯馬さん

かたそろえかぜにふかれるつくしたち

亀岡市立詳徳小学校

6年 久木 美央さん

あの山とわたしはいっしょに大きくなる

亀岡市立詳徳小学校

6年 亀田 優月さん

きんようび先生がつくったところてん

尾鷲市立矢浜小学校

6年 藤田 喜帆さん

どこなんだサンマのこえがきこえるよ

八幡市立八幡小学校

5年 岩田 潤さん

おじさんははなげをだして月をみる

八幡市立八幡小学校

4年 岡田 壮史さん

かきは秋おいしく食べる空を見て

八幡市立八幡小学校

3年 袖岡 椿さん

アユモドキガラがしましまふしぎだな

亀岡市立安詳小学校

4年 永本 快飛さん

春の風レフトオーバー球がとぶ

淡路市立学習小学校

6年 船本 愛愁さん

ふきのとうおとなりさんとひよっこりだ

淡路市立学習小学校

6年 山田 依桜愛さん

顔知らぬじいちゃん帰るお盆かな

淡路市立学習小学校

6年 山本 凌輔さん

通学ろきりの中から出てきたよ

亀岡市立千代川小学校

5年 米田 修優さん

〈中学生の部〉

夏休み混ざるな危険この姉弟

京都教育大学附属京都小中学校

8年 長村 美瑞さん

夏野菜あなたも一ついかがです

京都教育大学附属京都小中学校

9年 八木 董さん

梅雨明けて坊主にしたい季節かな

京都教育大学附属京都小中学校

9年 小林 聡志さん

家のおくのぞいてみたらうしがえる

亀岡市立東輝中学校

3年 岡村 花菜さん

朝霧にうそをついたら歩道橋

川越市立福原中学校

3年 三宅 智也さん

仮名文字や亀山城の雨の音

川越市立福原中学校

3年 板場 暁洋さん

〈一般の部〉

桜石かなしみかくしすれちがふ

川越市立福原中学校

3年 大塚 亜寿美さん

光秀の城すぎ花野人となる

滋賀県 東近江市

井田 寿一さん

上下なき円座の宴花ふぶき

熊本県 八代市

貝田 ひでをさん

夏の霧リップをつけて駅の前

川越市立福原中学校

3年 落合 美波さん

七人の男の子戦地へ生身魂

京都府 舞鶴市

大槻 美千江さん

無一物てふ力あり大冬木

三重県 鈴鹿市

古川 和子さん

卒業の歌遠く聴く美術室

福知山市立桃映中学校

3年 岡田 奈々花さん

月白や丹波城趾の野面積

京都府 京都市

原田 明さん

糸蜻蛉影一本となりにけり

東京都 足立区

木幡 忠文さん

亀山に丹波太郎が悠々と

京都教育大学附属京都小中学校

9年 若山 阿美さん

風入れのながき光陰拝謁記

京都府 八幡市

大山 文子さん

弓なりに棚田迫りあげ青嵐

京都府 南丹市

小寺 源吾さん

帰り道ふと足止める赤い月

湖南市立甲西中学校

2年 佐山 乙羽さん

油照り私を曲げてしまいそう

京都府 京丹後市

田崎 千草さん

さくら咲く亀岡駅で旅立つ日

愛知県 春日井市

柿崎 友李さん

帰省子にときをり鳴つて古時計

千葉県 松戸市

山本 新さん

【佳作】

〈小学生の部〉

きれいやなあるいてみたいなきりのうえ

亀岡市立つつじヶ丘小学校

1年 石野 つむぎさん

亀岡はきれいな月がてらしてる

亀岡市立亀岡川東学園

5年 人見 颯葵さん

雪山にシロップかけていただきます

尾鷲市立矢浜小学校

6年 北村 遥香さん

花もようちようちよがうろつくワンピース

カナディアン・アカデミー

5年 大谷 菜夏さん

夏休み遊びまくって宿題が…

亀岡市立亀岡川東学園

6年 中川 鈴乃さん

マヨネーズ冷やしきゅうりが似合うきみ

尾鷲市立矢浜小学校

6年 直江 呼春さん

あついなあもうすぐ海につくかなあ

亀岡市立曽我部小学校

3年 須田 眞櫻さん

さくら咲く君の顔には笑顔さく

亀岡市立亀岡川東学園

6年 久保 月乃さん

プール開き虫もぶかぶかおよいでる

尾鷲市立矢浜小学校

6年 黒 美結さん

なつまつりしゃてきをうててうれしい

亀岡市立曽我部小学校

3年 橘 瑞さん

春の朝ふと気がつくときくらの雨

亀岡市立亀岡川東学園

6年 森山 凱さん

家の前コスモスみんな笑ってる

八幡市立八幡小学校

5年 宍倉 香絵さん

山のほうにりゆうみたいなきりが出る

亀岡市立亀岡川東学園

5年 畑 夏帆さん

帰り道つつじのみつをすうばくら

京都市立広沢小学校

4年 前川 大輔さん

セミの声ミンミン鳴くよなんのうた

八幡市立八幡小学校

5年 山本 莉杏奈さん

もみじがね夕日とともにしずんでく

亀岡市立亀岡川東学園

5年 亀岡 瑞希さん

空蟬は生まれたあかし命のかけら

亀岡市立亀岡小学校

4年 北山 隼さん

組み体で一致団結力なり

八幡市立八幡小学校

6年 小田 真衣実さん

夏休みカヤックこいで川下り

八幡市立八幡小学校

6年 山口 頌之さん

夏休みこいしくなるな小学校

八幡市立八幡小学校

6年 松川 怜さん

夏休み受験生らの天王山

八幡市立八幡小学校

6年 内野 迅翔さん

夏祭り一人でいくとさみしいな

八幡市立八幡小学校

6年 村田 亘さん

どうしようスイカの種を食べちゃった

八幡市立八幡小学校

4年 野田 祐音さん

秋が来たエアコンアイス半がくだ

八幡市立八幡小学校

4年 松田 美希さん

秋の日はとげとげのくりいったいな

八幡市立八幡小学校

3年 和田 康聖さん

バスがきたみんなでのろう

ぎゅうぎゅうぎゅう

八幡市立八幡小学校

3年 水嶋 天さん

山でやく松茸やったーおいしいぞ

八幡市立八幡小学校

3年 石井 孝弥さん

ハロウィンですジャック・オ・ランタン
かざりましたよ

八幡市立八幡小学校

3年 上田 洋子さん

さんまくうガブガブくうぞあつすぎだ

八幡市立八幡小学校

3年 宮本 龍輝亜さん

かぞくでねスイカをわってあかくなる

有田町立有田中部小学校

3年 岡本 蒼さん

春の果てピンクの花びらとんでゆく

淡路市立学習小学校

6年 岩城 尚跳さん

春の風吹かれておよぐみどりたち

淡路市立学習小学校

6年 平野 香音さん

春の空スーツ姿の若い人

淡路市立学習小学校

6年 橋ヶ迫 壮太さん

春の月すぶりしすぎてまめできる

淡路市立学習小学校

6年 豊田 翔大さん

満点の夜に光った花火顔

淡路市立学習小学校

6年 佐々木 悠時さん

春の風ねこは毎日ねてばかり

淡路市立学習小学校

6年 楠 友佑さん

学校でぼくは勉強山わらう

淡路市立学習小学校

6年 来田 悠人さん

夏の空空が青いと気持ちいい

亀岡市立千代川小学校

6年 西村 宥人さん

台風だ流されないでアユモドキ

亀岡市立千代川小学校

6年 中田 壮治郎さん

きりの中むかいの家が見えません

亀岡市立千代川小学校

5年 福田 葉月さん

ぼんおどりおどつてみれば楽しいな

亀岡市立千代川小学校

6年 西川 陽彦さん

かぶとむしスイカを食べて元気出せ

八戸市立下長小学校

3年 遠藤 みのりさん

ランランランみんなであうたうよつつじがね

亀岡市立千代川小学校

5年 岩崎 菜月さん

アユモドキともにくらそうこのまちで

亀岡市立千代川小学校

6年 森 勇人さん

ひまわりの咲く方向に平和あり

豊橋市立汐田小学校

6年 山内 瞭さん

おもいではくらげのいたさなつやすみ

亀岡市立千代川小学校

5年 杉山 光希さん

朝起きてコスモス光る朝びかり

亀岡市立千代川小学校

6年 建部 皓介さん

文久のとうろう探した夏休み

亀岡市立南つつじヶ丘小学校

3年 福知 篤人さん

かめおかしほづがわくだりなみのゆれ

亀岡市立千代川小学校

5年 竹井 海空さん

朝ぎりや眼鏡かけずに歩く街

名古屋市立滝川小学校

6年 水野 結雅さん

雲海とともに心も起き上がる

亀岡市立千代川小学校

6年 中井 美緒さん

スタジアム桜といっしょにスタートだ

亀岡市立千代川小学校

6年 西田 樹さん

〈中学生の部〉

百千鳥光がとたんに入り交じる

京都教育大学附属京都小中学校

8年 橋本 一嶺さん

オオルリと僕と野花と山霧と

京都教育大学附属京都小中学校

8年 栗原 健人さん

ラムネ玉屋台に光る子供の目

京都教育大学附属京都小中学校

8年 小笠 愛心さん

朝霧やおはようを聞き消えてゆく

京都教育大学附属京都小中学校

8年 植松 寛智さん

海水浴海パン脱いだら白パンだ

京都教育大学附属京都小中学校

8年 山口 修一朗さん

大晦日掃除機片手にいざ出陣

京都教育大学附属京都小中学校

8年 川端 諒香さん

朝練習霧と一緒に猛ダッシュ

京都教育大学附属京都小中学校

8年 松原 蒼さん

冬休み謀反をおこして白い旗

京都教育大学附属京都小中学校

8年 山内 ひまりさん

スイカには種の数だけ幸宿る

京都教育大学附属京都小中学校

8年 尾上 司さん

ちよつと待てうちの光秀アイス食う

京都教育大学附属京都小中学校

8年 川越 夕也さん

弟と虫取網と公園へ

京都教育大学附属京都小中学校

9年 荒川 大和さん

友人と「光秀まつり」手にラムネ

京都教育大学附属京都小中学校

9年 小谷 菜緒さん

霧が出て町は一瞬森のよう

京都教育大学附属京都小中学校

9年 田中 士葵さん

テスト前一人独房汗拭ふ

亀岡市立別院中学校

3年 尾崎 俊輔さん

夏休み何日ぶりかペンにぎる

亀岡市立別院中学校

1年 古本 ノアさん

部活終わり二人で見上げた天の川

亀岡市立東輝中学校

3年 岡崎 玄武さん

川くだり一緒に旅するアユモドキ

亀岡市立東輝中学校

3年 高尾 幸成さん

受験生勉強してねえ霧はれねえ

亀岡市立東輝中学校

3年 奥 慶也さん

台風は進路決まっててうらやましい

亀岡市立東輝中学校

3年 岩岡 花音さん

雪溶かすサンガとともに来たる熱

亀岡市立東輝中学校

3年 林 賢太朗さん

たきの音神様からのメッセーじ

亀岡市立亀岡川東学園

7年 関 心優さん

お年玉出てきたものは宝くじ

亀岡市立亀岡川東学園

8年 橋本 和磨さん

丹波路にみどりかがやく稲穂たち

亀岡市立育親中学校

1年 小原 海樂さん

夏休み陸部で始めたジャベリック

亀岡市立南桑中学校

1年 山鹿 蒼空さん

秋の夜ねこといつしよに屋根の上

亀岡市立南桑中学校

1年 宮出 柏さん

巣立ちゆく鳥の親子を送り出す

亀岡市立南桑中学校

1年 木村 琉生さん

きりの中探り探りの友の声

亀岡市立南桑中学校

1年 村田 春輝さん

ひぐらしやなんだか切ない日の終わり

亀岡市立南桑中学校

1年 山内 夏海さん

彼岸花咲いてにぎわう通学路

亀岡市立南桑中学校

1年 田村 明さん

山囲む授業にのどかな夏来たる

亀岡市立南桑中学校

2年 川北 小春さん

窓に字を書く小学生の冬

亀岡市立南桑中学校

3年 大石 慈穂さん

受験生光秀時代へ行きたいな

亀岡市立南桑中学校

3年 伊藤 優里香さん

年月を手元に想う桜石

亀岡市立南桑中学校

3年 小西 花梨さん

大空の入道雲で眠りたい

亀岡市立南桑中学校

3年 円山 遥斗さん

ムカデ練さあ始まるぞ体育祭

亀岡市立南桑中学校

3年 鈴木 華乃さん

山奥の露天風呂へと桜咲く

亀岡市立詳徳中学校

1年 村田 琴音さん

薄霧に突如あらわるスタジオム

亀岡市立詳徳中学校

1年 木村 大輔さん

アユモドキむこうは勝手にかくれんぼ

亀岡市立詳徳中学校

3年 中村 宥心さん

夏の霧うさぎと亀のうさぎかな

川越市立福原中学校

3年 樋口 大斗さん

自転車で切る夕霧の重さかな

川越市立福原中学校

3年 前島 夏乃さん

朝霧の手帳ひらいて動き出す

川越市立福原中学校

3年 和智 睦乃実さん

桜舞う真上見上げて待ちぼうけ

川越市立福原中学校

3年 清水 柚衣さん

バス停の背筋伸ばして冬の霧

川越市立福原中学校

3年 高野 莉来さん

ぼろぼろとこぼれる涙日記買ふ

川越市立福原中学校

3年 矢部 大夢さん

あの人はいつも見すごすつつじかな

川越市立福原中学校

3年 石川 紅杏さん

冬霧のくるくる回る交差点

川越市立福原中学校

3年 大谷 友也さん

七夕や亀山城見て髪結わく

川越市立福原中学校

3年 大片 美桜さん

曖昧な言葉ばかりの夏の霧

川越市立福原中学校

3年 吉澤 玲奈さん

蒲公英や陽気な朝日に照らされる

愛南町立御荘中学校

2年 小泉 颯人さん

ゆすらうめ鳥と一緒に種飛ばす

愛南町立御荘中学校

2年 田原 里南さん

水面の金閣ゆがむオタマジャクシ

愛南町立御荘中学校

2年 濱見 晴丘さん

春探し猫とお散歩かけだした

愛南町立御荘中学校

2年 山崎 綾さん

赤とんぼ緊張おさえいちについて

愛南町立御荘中学校

2年 白石 萌恵さん

ひまわりが空に向かって突き進む

愛南町立御荘中学校

2年 上田 蒼将さん

梅雨明ける白いスニーカー履いてみる

京都教育大学附属京都小中学校

9年 藤原 早希さん

ハチドリと共にみつ吸うつつじみち

京都教育大学附属京都小中学校

9年 増田 綺音さん

裏切りの始まり告げる亀岡の霧

京都教育大学附属京都小中学校

9年 里 一郎さん

見えてきた白い絨毯そばの花

亀岡市立大成中学校

2年 中川 莉々子さん

ときすでにせんぷうきではたえられぬ

亀岡市立亀岡中学校

2年 松本 真奨さん

知らぬまに夏の悪魔にさされてる

亀岡市立亀岡中学校

2年 永田 桔平さん

ふと見ればたくさんいたね赤蜻蛉

湖南省立甲西中学校

2年 中川 茉穂さん

ただいまといったそばから冷蔵庫

湖南省立甲西中学校

2年 井上 桃花さん

子どもたちお年玉を強くにぎっている

湖南省立甲西中学校

2年 小田 優奈さん

この匂い私の好きななしの匂い

湖南省立甲西中学校

2年 米津 椎菜さん

ひよっこりとつくし出てくる家の前

湖南省立甲西中学校

2年 八木 梨心さん

おでんはね家族をホッコリさせるんだ

湖南省立甲西中学校

2年 藤原 琴音さん

🌸 開催内容 🌸

【開催趣旨】

世界で最も短い詩である俳句は、今では世界各地に広がり、幅広い層が五七五の言葉の表現を楽しんでいます。2020年大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公に決定した亀岡ゆかりの武将「明智光秀」が詠んだ「時は今天が下知る五月哉」の句はとて有名です。光秀もまた俳句を愛した一人でした。

昨年度の大河ドラマの決定と亀岡市生涯学習都市宣言30周年を機に、光秀も愛した俳句を広く全国から募集することで、亀岡の魅力を全国に発信するとともに、俳句を楽しむ機会を創出し、次世代を担う青少年の健全育成と生涯学習の更なる推進を目指しています。

【募集作品】

○光秀公のまち亀岡を題材として詠んだ句

○自由句（自然を詠んだ句など）

※一人合計2句まで

【募集部門】

・小学生の部 ・中学生の部 ・一般の部

【賞】

○大賞「明智光秀賞」	1句
○亀岡市長賞	各部門1句（計3句）
○亀岡市教育長賞	各部門1句（計3句）
○審査員特別賞	各部門1句（計3句）
○自然環境文化賞	各部門2句（計6句）
○優秀賞	各部門3句（計9句）
○奨励賞	数点
○佳作	小学生の部・中学生の部 数点

【選考委員】

山折哲雄	（宗教学者）
坪内稔典	（俳人）
植山俊宏	（京都教育大学教授）
名村早智子	（俳人）
火箱ひろ	（俳人）
井上菜摘子	（俳人）
桂川孝裕	（亀岡市長）
神先宏彰	（亀岡市教育長）

【主催】

亀岡市

【共催】

亀岡市教育委員会、
一般社団法人自然環境文化推進機構

【後援】

京都府、京都府教育委員会、京都市、
京都市教育委員会、NHK京都放送局、
KBS京都、京都新聞、一般財団法人
本願寺文化興隆財団ジャポニスム振興会、
公益財団法人生涯学習かめおか財団

応募結果・講評

【募集作品】

○全体 4, 0 4 2 句

小学生の部	1, 1 4 2 句
中学生の部	1, 7 5 7 句
一般の部	1, 1 4 3 句

たくさんのご応募ありがとうございました。

【講評】

○全体

明智光秀と亀岡、この2つが「光秀公のまち亀岡 俳句大賞」のキーワードです。光秀を知り、亀岡について調べる。そうした下準備からこのコンテストに応募する句作りが始まります。入賞作品の多くは下準備のよく出来た作品でした。みなさん、ぜひ亀岡を訪ねてください。現地を歩いていただき、亀岡牛や亀岡産野菜を食べていただくと、句を作ろうとする気持ち（句心）がますます高まりますよ。

今年はイタリア、アメリカからの応募もありました。HAIKUはすでに国際化しているいろんな国で作られていますが、MITSUhide、KAMEOKAも国際化するといいいですね。

○小学生の部

応募は、1, 1 4 2 句でした。すべての句に、見えた景色や経験したこと、思いや願い、感覚が盛りこまれていました。小学生の目の付けどころ、感性の働かせ方に感心しました。中でも入選した20句には、亀岡の自然が多く詠まれていました。「紅葉」、「つくし」、「山」、「カブトムシ」、「雪」、「月」、「かき」、「いちじくの葉」、「あかとんぼ」、「アユモドキ」、「だんごむし」、「春の風」、「ふきのとう」、「きり」などを、発見や実感、想像といっしょに詠み込んで、四季の豊かさを自分らしく表現していました。どれも五七五のリズム感溢れる作品で、口ずさんでみて楽しくなりました。

○中学生の部

中学生の発見した「今」が生き生きと表現された俳句が入賞しました。テーマである「霧」は、それぞれ面白い切り口で、現代の新しい「霧」がありました。「クジラ」「うそ」「ポニーテール」「リップ」などの取り合わせ。霧に囲まれた日の一瞬や思いが素敵な俳句になって読み手に届きました。

また生活のちょっとした出来事を愉快にとらえた人間模様は、読むひとを楽しくさせてくれました。「アユモドキ」や「蜂」、夏雲の「丹波太郎」も俳句にすれば、共に生きている仲間に思えて不思議です。

○一般の部

2回目にして、多少投句数の減少はあったものの、質的には向上が感じられました。光秀を思いやっつての作品、亀岡の景色を彷彿とさせられる作品、歴史の深さを感じさせられる作品、アユモドキなど当地独特のものへの思いのこもった作品など、季語との取り合わせも昨年にも増して工夫が見られました。入賞作品20句のうち自由題が12句と少し多かったが、どれもテーマ作品として取り上げてもいいほど当地にふさわしいものでした。今後は更に、自分に引き寄せた形で、光秀公や亀岡の町が多くの人に詠まれていくことに期待します。

生涯学習都市宣言

わたくしたち亀岡市民は人間の尊重と
地域社会の一員としての自覚のもと
常に いま 何をなすべきかを
問いかけ合いながら
生涯にわたり学び続け自己を高め
連帯の絆を強めることにより
生きる喜びと明るく豊かなまちに住む
喜びの持てる亀岡を目指し
ここに亀岡市を「生涯学習都市」
とすることを宣言する

昭和63年3月30日 告示

